



た  
まる  
じょう  
あと  
田丸城跡

た

たま  
き  
み  
玉城見わたす

しろ  
お城あと

たま  
き  
じょう  
玉城町



た  
まる  
じょう  
あと  
田丸城跡

田丸城跡は、伊勢本街道と熊野街道が合流した海拔50mの山の上に、1336年ごろ、南朝方の北畠親房により築られました。その後、1575年、北畠氏を継いだ織田信長の二男信雄は、山に濠をめぐらし、今に残る田丸城を築きました。こちらは、1953年に県の史跡に指定されています。

【教材「三重の文化」P55】